

第3次大野市男女共同参画プラン（案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 案件名 第3次大野市男女共同参画プラン（案）

(2) 募集期間 令和3年1月27日（水）から2月10日（水）までの15日間

(3) 意見提出状況 提出意見：3件、提出者：1人、提出方法：書面1件・電子メール0件

No	意見の概要	回答（市の考え方）	修正箇所
1	<p>字句等の訂正 （4ページ） 「目標10.人や国の平等をなくそう」→「目標10.人や国の不平等をなくそう」 （5ページ） 「参画拡大向けて」→「参画拡大に向けて」 （12ページ） 「委員会などおける」→「委員会などにおける」 （20ページ） 「心の醸成と、大人への」→「心の醸成とともに、大人への」 （33ページ） 一番上のグラフの緑色の説明が抜けている。</p>	<p>ご指摘のとおり、字句等の訂正と修正をいたします。</p>	<p>あり</p>

2	<p>(17ページ)</p> <p>施策の内容で、「生涯を通じた健康支援や性差に応じた健康支援の充実」とあるが、実施事業には性差に応じた健康支援策がない。健診時等に女性特有の悩みや病気等の相談を実施できないか。</p>	<p>生涯を通じた健康の保持のためには、男女で疾患の罹患状況が異なるため、性差に応じた適切な保健・医療を受ける必要があります。ご意見を参考に、次のとおり修正いたします。</p> <p>(修正前)</p> <table border="1" data-bbox="1160 512 1839 695"> <tr> <th data-bbox="1160 512 1839 576">実施事業</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1160 576 1839 695"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児健康診査や健康栄養相談、歯科相談、歯科検診を実施 </td> </tr> </table> <p>(修正後)</p> <table border="1" data-bbox="1160 818 1839 1305"> <tr> <th data-bbox="1160 818 1839 882">実施事業</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1160 882 1839 1305"> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談会、母乳相談、幼児健康診査における相談の実施 ・福井県看護協会が実施する助産師による女性の健康相談の周知 ・婦人がん検診、健康栄養相談、歯科相談、歯科検診における性差に応じた健康相談の実施 </td> </tr> </table>	実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児健康診査や健康栄養相談、歯科相談、歯科検診を実施 	実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談会、母乳相談、幼児健康診査における相談の実施 ・福井県看護協会が実施する助産師による女性の健康相談の周知 ・婦人がん検診、健康栄養相談、歯科相談、歯科検診における性差に応じた健康相談の実施 	あり
実施事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児健康診査や健康栄養相談、歯科相談、歯科検診を実施 							
実施事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談会、母乳相談、幼児健康診査における相談の実施 ・福井県看護協会が実施する助産師による女性の健康相談の周知 ・婦人がん検診、健康栄養相談、歯科相談、歯科検診における性差に応じた健康相談の実施 							

3	<p>男女共同参画という言葉聞いてから20年もたつのに歩みは本当にゆっくりである。男性の働き方を女性の方に近づけ、対等のパートナーとして家庭も仕事も共に担うことを目指したのに男女雇用機会均等法や、労働基準法から女性の保護が削除され家庭の負担はそれほど変わらず、仕事では男性以上に働かなければ認めてもらえないようになり、女性の生きづらさが増したように感じられる。</p>	<p>平成11年に男女共同参画社会基本法の施行以来、働き方改革関連法や女性の職業生活における活躍推進に関する法律など女性活躍を推進する法律や制度が整備され、女性活躍の推進に向けた取組みが実施されてきました。</p> <p>その結果、平成22年から令和元年までの10年間で全国の男性の育児休業取得率は1.4%から7.5%に増加しました。また、女性就業者数も300万人以上増えており、女性の活躍は少しずつですが確実に前へ進んでいると言えます。</p> <p>一方で家庭における女性の負担は依然として大きく、本市のアンケート調査結果からも、家事の負担が女性に偏っているのが現状です。</p> <p>女性が仕事と家庭生活のバランスを取ってあらゆる分野へ参画できるよう、関係機関と連携して引き続き職場環境の整備や意識啓発に取り組んでいきます。</p>	なし
---	--	--	----